

クイックリファレンスガイド



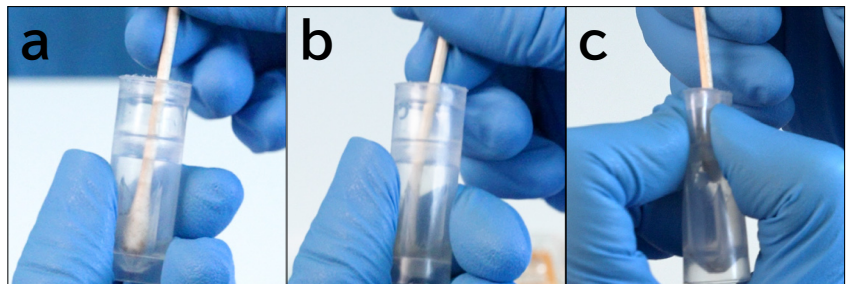
検体採取のポイント

- + 綿棒で検体を採取する前に、耳を洗浄しないでください。洗浄によって、重要な細胞成分が消失したり、変性したりするおそれがあります。
- + 木製の軸で作られた標準的な綿棒を使用してください。軸が紙製やプラスチック製の綿棒は、検体を吸着したり、希釈液中で溶解したりして、機器がエラーを起こす原因となる可能性があるため、使用しないでください。

IDEXX インビュー Dx 外耳細胞診用の耳スワブ検体の準備

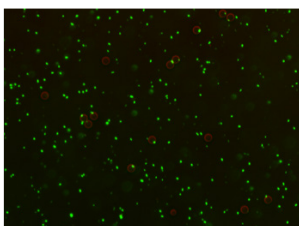
IDEXX インビュー Dx 外耳用クイック準備キットを使用して、検体を調整する必要があります。以下の手順に従って、外耳の綿棒から得られた成分をできる限り多く含んだ検体を用いて検査します。

1. サンプルチューブのホイルシールを剥がします。
2. 検体をチューブに入れます。
 - a. 綿棒をチューブの内壁および突起に強く**ねじる**ようにな何度も回転させます。綿棒に検体が残らないようにします。
 - b. 塊上の大きな検体は綿棒を使って崩し、チューブ内で検体を**液状化**させます。検体は希釈液中に均一に分散させます。
 - c. チューブの首部分で綿棒の先端をしっかりと**絞る**ようにして、検体を完全に分離させます。チューブ内にすべての検体が残るようにします。この時、綿棒を取り出すと、先端は摩耗していて、ほぼ乾いた状態で、色も薄くなっているはずです。
3. 試薬キャップからホイルシールを剥がします。キャップがチューブ上部と同一平面になるまで、キャップをサンプルチューブに押し込みます。
4. チューブを振らずに、上下に5~10回転倒混和し、試薬が完全に溶解するまで混ぜます。振ると過剰な気泡が発生し、機器のエラーの原因となる可能性があります。
5. 上部のキャップタブをねじって外し、**チューブの内容物を適切なカートリッジポート(左または右)に分注します**。この時、チューブ内に液体が残らないようにします。調整した検体の量や色は、採取した検体によって異なります。
6. 反対側の耳の検体についても、手順1~5を繰り返します。その後、カートリッジを機器に挿入し、「スタート」ボタンを押します。

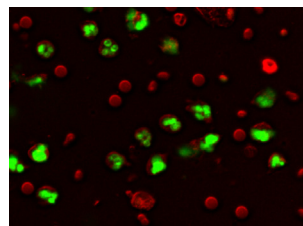


IDEXX インビュー Dx による検査結果の確認

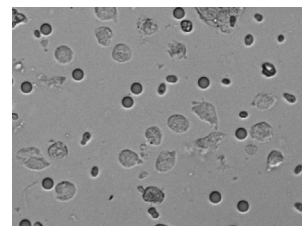
1. 定量的/定性的な結果を評価します。酵母と細菌は、以下のように表示されます: 0 (なし~極少数)、1+ (少数)、2+ (中等度)、3 ~ 4+ (多数);¹ 白血球とダニは、「存在する」または「存在しない」と評価されます。
2. 患者の状態や検体の肉眼所見とともに、画像の下に表示される「検査所見」を確認してください。
3. 検査結果を代表する画像が表示された画像ギャラリーを確認してください。画像はIDEXX インビュー Dx による検査結果を視覚的に表したものであり、**臨床的な結果解釈に必須ではありません**。検査センターでの病理検査報告書と同様に、これらの画像は飼い主様への診断結果のご説明に活用できます。



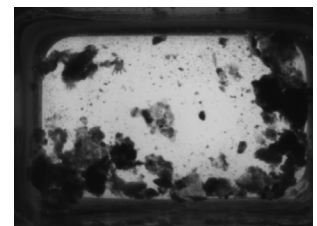
細菌の評価



酵母と白血球の評価(合成)



酵母と白血球の評価(明視野)



ダニの評価

IDEXX インビュー Dx とスライドガラス法の違い

IDEXX インビュー Dx とスライドガラス法の主な違いは、以下の通りです。

- + IDEXX インビュー Dx は、従来のスライドガラス法よりも多くの視野を鏡検し、数千個の細胞を評価します。
- + 独自の染色法を活用し、複数の波長の光を細胞に照射することで、従来法では検出できない細胞の特徴を捉えます。
- + IDEXX インビュー Dx による検査は、一貫性、客観性、再現性に優れており、マニュアルでのスライド鏡検に伴う主観的な評価を排除します。

IDEXX インビュー Dx の結果とスライドガラス法による結果を比較する際の問題点

IDEXX インビュー Dx による外耳細胞診の結果を、スライドガラス法による結果と比較することはお勧めしません。その理由は：

- + この2つの検査法は、原理や精度が異なり、誤差の原因も根本的に異なっています。
- + スライドガラス法に関する研究では、以下の問題点が指摘されています：
 - 同じスライドガラス標本を2人の検査者が鏡検しても、結果が一致しないことがあります。
 - 同じ綿棒から作製した2枚のスライドガラス標本でも、含まれる成分の数が異なることがよくあります。
 - 同じ耳から採取した2本の綿棒でも、しばしば一致率が低く、結果が矛盾することがあります。²
 - スライドガラス標本用の染色液が、酵母や細菌によって汚染されている可能性があります。

重要: お勧めはしませんが、スライドガラス標本を IDEXX インビュー Dx の外耳細胞診の結果と比較する場合は、必ず次の点に注意してください。

- + 両者の結果は、完全に一致するとは限りません。
- + 両方の手法に同じ綿棒を使用し、それぞれの方法で得られる細胞成分の量が異なる場合があることに留意してください(通常、最初の方法の方が2番目の方法よりも多くの成分を採取できます)。
- + 結果を IDEXX インビュー Dx の画像ギャラリーと比較してください。印刷された数値や結果が本当に正しいかの確認になります。例えば、細菌の半定量結果が0~1+(正常)であった場合、画像では少数の緑色の点が見られることがあります。これは、IDEXX インビュー Dx が少数の細菌を検出したことを示唆しています。

よくある質問(FAQ)

IDEXX ベットラボ ステーションで外耳細胞診検査を開始すると、臨床症状や来院理由などのオプション項目が表示されます。これらの情報を入力すると、結果に影響しますか？

これらの情報は追加の診断的知見を提供するもので、患者記録に統合されます。

患者の結果にダッシュ(--)が表示されるのは、なぜですか？

ダッシュ(--)は、剥離物や変性した細胞などの影響によって検体の質に問題があると判断された場合、結果が非表示になっていること表します。

検体の画像に写っている丸い物体は何ですか？

丸い物体(複合表示では赤色、明視野表示では透明)はフォーカスビーズと呼ばれるもので、IDEXX インビュー Dx が検体に正しく焦点を合わせるための試薬です。

引用文献

¹ Ginel PJ, Lucena R, Rodriguez JC, Ortega J. A semiquantitative cytological evaluation of normal and pathological samples from the external ear canal of dogs and cats. *Vet Dermatol* 2002;13:151-6.

² Lehner G, Sauter Louis C, Mueller RS. Reproducibility of ear cytology in dogs with otitis externa. *Veterinary Record* 2010;167:23-26.